

名 称	令和4年度 地下構造物専門委員会 現場見学会		
実施日	令和4年9月16日(金)	実施場所	都市計画道路上郷公田線(公田地区) 道路建設工事 桂町(公田) トンネル
参加者数	38名(会員38名(15社)、行政0名(0事務所))		

### 実施目的

小土被り・近接構造物など厳しい制約条件下で様々な創意工夫を行っている都市部の山岳トンネル工事現場であり、超近接トンネルの設計・施工や計測管理、ICT 施工などの最新技術を現地で見学することにより、設計技術者の技術力向上を図る。

### 実施概要

#### 1. 開催概要

地下構造物専門委員会では、行政による行動制限等が発令されておらず、また新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向である社会状況を踏まえ、2019年以來、3年ぶりに現場見学会を開催した。現場見学会は、発注者である横浜市役所と、施工者である前田・大日本土木・宮内建設共同企業体の協力を得て、下記開催概要に沿って令和4年9月16日(金) 13:45~16:15に開催した。

#### ■開催概要

- 日時 : 令和4年9月16日(金)
- 場所 : 都市計画道路上郷公田線(公田地区) 桂町(公田) トンネル工事
- 内容 : 山岳トンネル工事
- 行程 : 13:45~14:00 受付開始~受付終了(現地仮設ヤード内)  
(移動)  
14:00~14:45 挨拶・注意事項の説明、事業概要説明  
(移動)  
14:45~15:55 桂町(公田) トンネル工事見学  
(移動)  
(アンケート記入)  
16:15 現地解散



#### 2. 見学会内容

##### (1) 新型コロナウイルスの感染防止対策

参加条件は、ワクチン接種歴(3回以上)又は、PCR 検査等での陰性証明を提示できることとした。また、参加条件とは別に、体調不良時などの場合は参加を控えるように依頼した。受付時には検温と手指消毒を依頼し、検温結果は記録した。見学会開催中は、マスクの着用を依頼した。

##### (2) 工事概要説明・質疑応答

工事概要説明は、前田・大日本土木・宮内建設 JV により行われ、特に24時間リアルタイムで行われている3次元自動計測等に現場の創意工夫が見られた。質疑応答では、ロックボルト打設を省略する場合の設計思想、無導坑方式と中央導坑方式の使い分け、先進坑と後進坑の選定理由など参加者から積極的な質問があった。

##### (3) 現場見学

中央導坑区間の過密配筋や排水対策など細かい点にも現場の創意工夫が見られ、限られたヤード内は整理整頓された状況で安全確保に留意した施工が行われていた。

#### 3. アンケート結果

参加型だからこそその規模・機械・設備・ヤードを体感できたこと、工事進捗に伴う現場の工夫や対応をわかりやすく説明いただけたことから、非常に好評であった。参加者は7割が35歳以下の若手で、コロナ禍で減少した見学会の必要性や要望・期待が大きいことを、企画側に再認識させるアンケート結果であった。

#### 4. 本見学会の成果と今後の改善点

新型コロナウイルスの感染防止対策に留意した3年ぶりの現場見学会であったが、事務局のバックアップもあり、無事に開催することができた。厳しい制約条件下で様々な創意工夫が行われている素晴らしい現場であり、設計思想や周辺環境への配慮などの重要性が参加者へ伝わったものと思われ、大変有意義な現場見学会であったと評価できる。今後は感染症対策も含め、現地での誘導や受け皿滑化などに留意したい。

以上

